

八上校区まちづくり協議会広報誌

# やかみ高城

第十七号

発行日：平成27年1月1日  
発行者：八上校区まちづくり協議会  
人口：2,250名(887世帯)  
男1,086名 女1,164名  
(平成26年11月末現在)

## 新年のごあいさつ

八上校区まちづくり協議会  
会長 池田 正男



八上校区の皆様、新年明けましておめでとうございます。

平素は八上校区まちづくり協議会の事業並びに運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

平成26年は、春4月、消費税増税、夏8月、豪雨による広島市の土砂災害、秋9月、御嶽山が噴火、そして冬12月、衆議院選挙とさまざまな出来事が社会を揺るがしました。

特に、台風11号は丹波市や福知山市に甚大な被害を与え、八上においても、篠山川が増水し、昨年同様糯ヶ坪地区が浸水する恐れがあり、消防団第7分団員他の懸命な努力により未然に防ぐことができました。10月、第31回八上親睦運動会は台風接近のため中止、など雨に悩まされた年でした。

さて、今年「八上校区まちづくり計画策定事業」に取り組み、『まちづくり計画書』を3月に公表します。平成27年度は、この計画書に基づき、校区の安心・安全計画、福祉計画など諸活動を展開していきます。本年も校区のまちづくりに役員一同



晴天の高城山(八上城跡) 撮影：中川治夫さん(八上内)

取り組んでまいります。つきましてはご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げますと共に、校区の皆さまのご健康とご多幸を祈念いたします。

## 第29回八上校区文化祭

実行委員長 小西 郁男

第29回八上校区文化祭を11月15・16日に開催しましたところ、多くの皆様のご来場及び、ご協力により大変盛り上がり、本当にありがとうございました。

作品展示については、高城会館で高城サークルの皆さんの作品展示に加え、校区内の有志による絵画、書道、押し花絵、小物手芸、布人形、古布を使用したカバン・帽子、写真、菊花など数多くの作品が展示されました。又、今年も抹茶とお茶菓子のおもてなしをさせて頂きました。

芸能発表は16日の午後1時より、来賓として、平野副市長、小西県議会議員を迎えて、大正琴、日本舞踊、篠山3B体操、ピアノ演奏、マジック、オカリナ演奏、命の貯蓄体操、八上うたおう会、よさこいソーラン、弥華美、ウクレレ演奏、ハワイアンフラ、そして最後に会場の皆さん全員で「ふるさと」を合唱し、閉会となりました。

高城サークルの皆さんをはじめ、一般参加の方々も日頃の練習成果を十分発揮した華やかなステージには感動しました。



作品展(高城会館)

16日の10時から16時まで高城会館駐車場に於いて、ポン菓子の実演販売、新鮮野菜の販売を行い、多数の皆さんに買っていただき、好評を得ました。

今後八上校区の文化の発展の為に色々と取り組んでいきたいと考えておりますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

## 「八上校区まちづくり計画」に取り組んでいます(その2)

9月から始めました八上校区の将来像を明確にし、その将来像を見据えた実施計画をまとめる「八上校区まちづくり計画策定事業」は第二段階に入りました。

10月4日(土)、第2回ワークショップを開催し、第1回のワークショップで出された八上の現状と課題に対する意見をどうすれば解決できるか、グループに分かれて意見交換を行いました。

例えば、「登下校の子供に対する挨拶や声かけ」について、「挨拶運動を進めよう。」「近所付き合いが希薄になっていく」「高齢者を含めた交流が少ない」「一人暮らしの方が多い」という意見について、「校区の皆さんが集まるふれあいカフェを開いたらどうか。」といった提案がありました。



芸能発表(八上小学校講堂)

また、「地域間の連携、交流の促進」という意見もあり、11月3日(月)鳥取市河原町「八上輝きの里づくり協議会」を訪ね、同じ八上名をもつ縁から地域間交流について意見を交わしてきました。

第3回以降、八上まち協役員他により、多くの意見を5つの実施計画

1. 安心・安全計画
2. 福祉計画
3. 環境計画(自然・環境・景観)
- 4・5. 地域連携促進計画

に整理し、柱立てを行い、目標と計画の取組みを、まとめたと思います。

年明けには、第3段階、個別実施計画を踏まえたまちづくりの目標(スローガン、基本方針)と八上校

## ◆◆◆自治会だより◆◆◆

### 若い人達との共生をめざして

西八上自治会長 志儀 正己

西八上集落は、高城山を東にみて殿町、八上下、糯ヶ坪、小多田の各集落と隣接する位置にあり国道372号が走っております。

地名の起こりは、60年ほど昔、江戸期の承応・明暦年間に八上下村から分村して西八上村が成立し、明治22年以降は現在の大字名となりました。

稲荷神社が祀られています。元禄14年2月に創立され、祭祀を奉る先人からの長い歴史が伝承されております。

秋の例祭の餅撒きは、老若男女の集いのもと声高に叫ぶざわめきの中で最高に盛り上がる行事となっております。祭神のご加護のお餅を拾い、無病息災を願ってそれを食する風習が受け継がれているようです。

現在は30戸91名です。以前はご多聞にもれず少子高齢者の集落でしたが、近年は親元を離れて生活していたご子息達が家族一緒にUターンしての生活。新しい宅地に若者ファミリーが新築で生活。子供や若者の人数が大幅に増え集落に活気が甦って

区の現状と課題をまとめ、年度末『八上校区まちづくり計画書』として公表したいと考えています。



きました。

若い人達の組織「つくし会」が15年前に結成され、親睦、地域との繋がりが、コミュニケーションを目的に活動しております。

集落内の溜池、道路等の法面草刈り、農道補修を率先して実行し、住民から厚い信頼と感謝を得ているところです。

また、4回目となる夏まつりのバーベキュー会については、準備から料理が出来上がるまでを担当すると共に憩いの場の設営に奮闘し、奥様の協力も得て盛大に催され、食べて、飲んで、談笑する楽しい一時を過ごしました。

これからも若い人達との共生をめざして、より良い自治会となるように願っています。



稲荷神社



西八上公民館